



未来研
おがわ
小川 良一
りょういち

議員

新市建設計画について

問 当初計画での平成27年度人口推計（6万1千222人）と実際の人口（5万4千人）との約7千人の乖離は何が原因か。

答 市長 人口推計値の乖離は、計画当時、旧町村の推計を単に積み上げた形であったことが原因です。

問 今後の市政への影響はどうか。

答 市長 正確な人口の将来予測に基づき、しっかりと現実を捉え対応し、地方創生に積極的に取り組んで行く考えです。

問 公共施設の統合整備の進捗状況はどうか。

答 総務部長 山武保健センターを用途廃止し、さんぶの森中央会館の一体施設としての管理や、蓮沼給食センター及び松尾給食センターを廃止し、成東及び山武の両給食センターへの機能分担、豊岡保育所及び蓮沼幼稚園の休園、松尾自動車教習所の民間への譲渡、睦岡幼稚園と山武北幼稚園を一つにして『むつみのおか幼稚園』に、成東幼稚園と成東保育所を統合して『なるとうこども園』に、緑海及び鳴浜の幼稚園保育所の4つの施設を統合して『しらはたこども園』としたほか、松尾出張所及び洗心館の跡地に公民館、学童クラブ及び直売所の機能

を併設した松尾交流センター洗心館の新設があります。また、今後は蓮沼出張所と蓮沼中央会館の跡地に健康増進施設と公民館類似施設などをあわせた（仮称）蓮沼タワーの整備があります。

問 オリンピック・パラリンピック関連事業の展開施策は何か。

答 総務部長 計画の基本目標5「人と人がふれあう文化の香り高いまち」の中でグラウンド整備を位置づけています。また、後期基本計画では、政策3・施策4の「シテイセールの充実」で展開を図ります。



問 オリンピック・パラリンピック関連事業の成果と市民への恩恵は何か。

答 総務部長 市の魅力をアピールする絶好の機会と捉え、まちづくりに活かしていくため、基本計画を策定し、教育・スポーツの分野を始めとして様々な施策の展開を開始しています。この成果は、直接的・物質的な恩恵ではないかもしれませんが、シテイセールスという大きな成果が出ており、若者が未来に希望を抱く教育水準・スポーツレベルの向上が期待されます。

問 松尾地域において、合併町村の一体性の確保と均衡ある発展のために実施された事業は何か。

答 市長 松尾地域については、合併当初、他の地域よりも整備が進んでおり、既にまちづくりが進んでいる状況があったことから事業が余り当てはまりません

でした。その後、めり張りをしつかり付けて行きたいと考え、松尾交流センター洗心館の整備、松尾藩を検証するための資料館の設置、あるいは、おおひらこども園の改築、豊岡地区の土地改良事業や農道整備などがあげられます。これらの事業は騒音地域ということを強く意識させていただき、優先的に考え実施してき



昨年11月にオープンした松尾藩資料館の様子